

2006年3月期
決算説明会

2006年5月1日
ヤマハ株式会社

➤ 2006/3期売上高は対前期横這い。一方、営業利益は半導体の収益悪化で対前期減益

- 3Q公表値に対しては増収。営業利益は予想どおり
- 楽器は対前期増収、利益横這い
- 電子機器・金属は、携帯電話用音源LSIの数量減と単価下落により、2期連続で対前期大幅減益
- AV・ITは競争激化で、急速な損益悪化
- リビングはシステムキッチンが牽引し、営業黒字化
- 期末棚卸資産残高は、前期末並みの779億円

2006/3期 業績概要



▶ 対前期営業減益。特別損失の減少と持分法利益の増加により、当期利益は増益

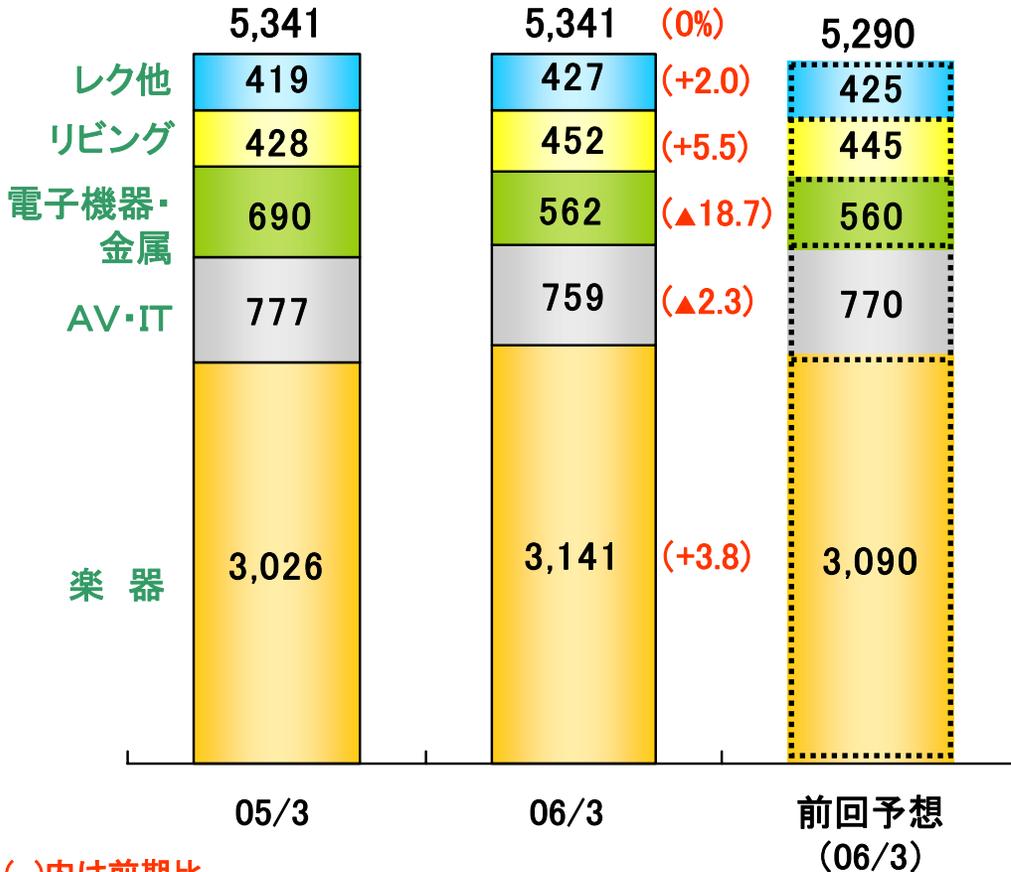
	05/3実績	06/3実績	+ / ▲	前回予想 (2/8発表)	(億円) 中期計画
売上高	5,341	5,341	0	5,290	5,650
営業利益 (営業利益率)	357 (6.7%)	241 (4.5%)	▲116	240	400
経常利益 (経常利益率)	413 (7.7%)	352 (6.6%)	▲61	350	430
当期利益 (当期利益率)	197 (3.7%)	281 (5.3%)	84	260	310
持分法利益	91	148		148	
EPS(円)	95.1	136.0	-		
ROE(%)	7.4	9.5	-		

為替レート		05/3	06/3	前回予想	中期計画
売上高	US\$	108	113	112	110
	EUR	135	138	136	127
利益	US\$	108	113	111	110
	EUR	133	135	134	127

2006/3期事業別業績



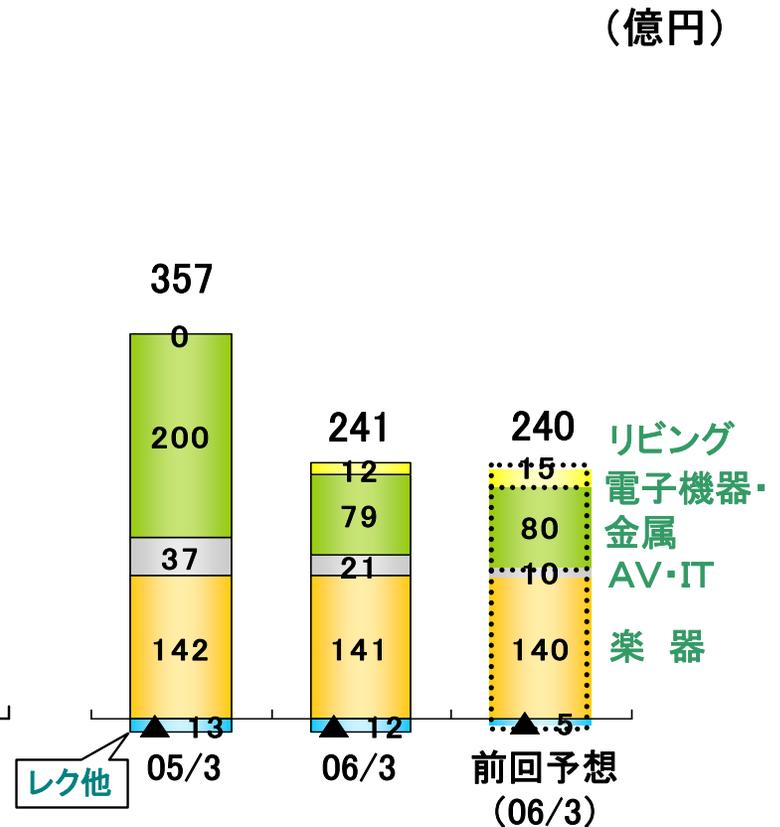
売上高



()内は前期比

05/3との比較での為替影響は+107億円
 (楽器+83、AV・IT+24)
 前回予想との比較での為替影響は+37億円
 (楽器+30、AV・IT+7)

営業利益



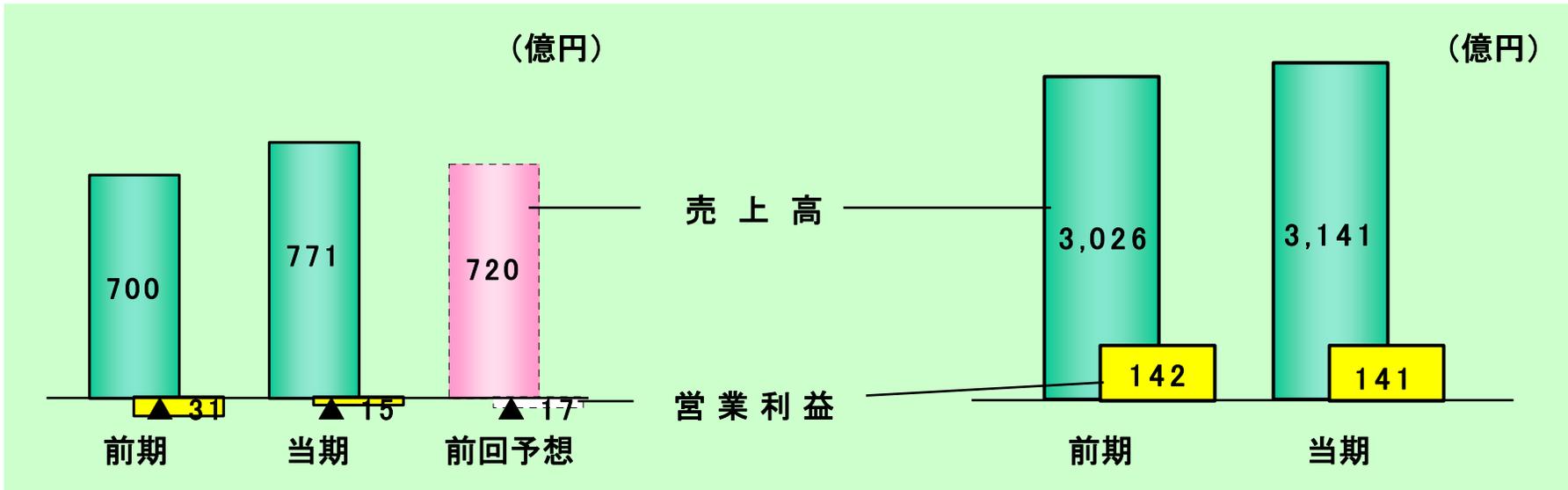
05/3との比較での為替影響は+19億円
 (楽器+23、AV・IT▲2、半導体▲1)
 前回予想との比較での為替影響は+4億円
 (楽器+6、AV・IT▲2)

4Qの状況

- ・ 為替をのぞいた4Qの実質売上高は前年同期比+4.9%の増収。前回予想との比較では+2.9%の増収
- ・ 4Q営業利益は増収に加え為替益があるものの在庫対策による売上総利益の低下で、前回予想並み
- ・ 期末在庫は為替影響による上乗せ分を除けばほぼ前回予想並みの水準まで低下

通期の状況

- ・ 通期営業利益は為替益があるものの、売上構成の変化による売上総利益率の低下、物流費等の販管費の増加により、対前期横這い
- ・ 為替影響を除いた売上高は前期に比べ実質+1.1%の増収
- ・ 設備音響機器は欧米を中心に順調な出荷。
- ・ 現地通貨ベースで北米は対前期+2.8%の増収、欧州は+3.9%の増収。
- ・ 韓国、中近東、中南米は大幅な伸長。中国もピアノを中心に順調な出荷
- ・ 音楽教室収入は2期連続で増収



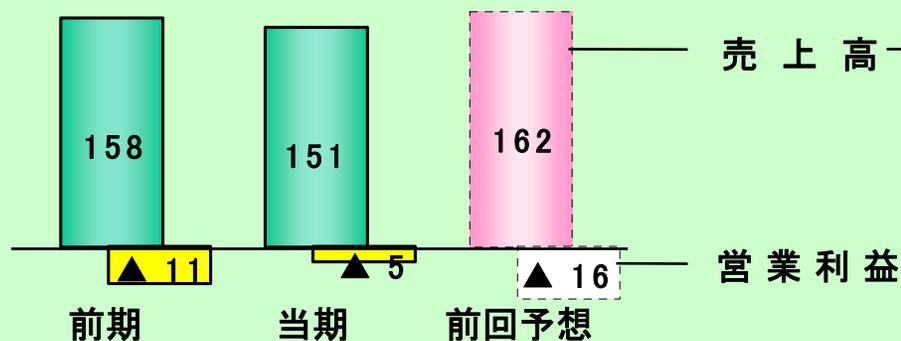
4Qの状況

- ・ 4Q実質売上高は、前年同期、前回予想とも89%の水準
- ・ 中規模ルーター市場は、業務用大手の参入で競争ますます激化
- ・ 期末在庫は対前期、前回予想に対し増加

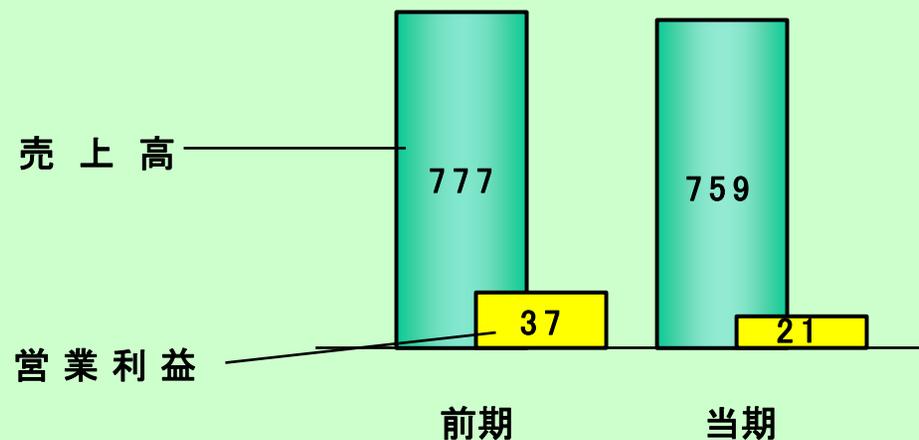
通期の状況

- ・ 対前期減収減益。競争激化と低価格化で、収益力は低下
- ・ 北米は、中高級レシーバー、HTiBを中心に実質前期比5.1%の成長。国内、欧州は減収。成長期待の中国は、販売網整備が課題
- ・ ヤマハサウンドプロジェクター「YSP」は7万台を超える出荷

(億円)



(億円)



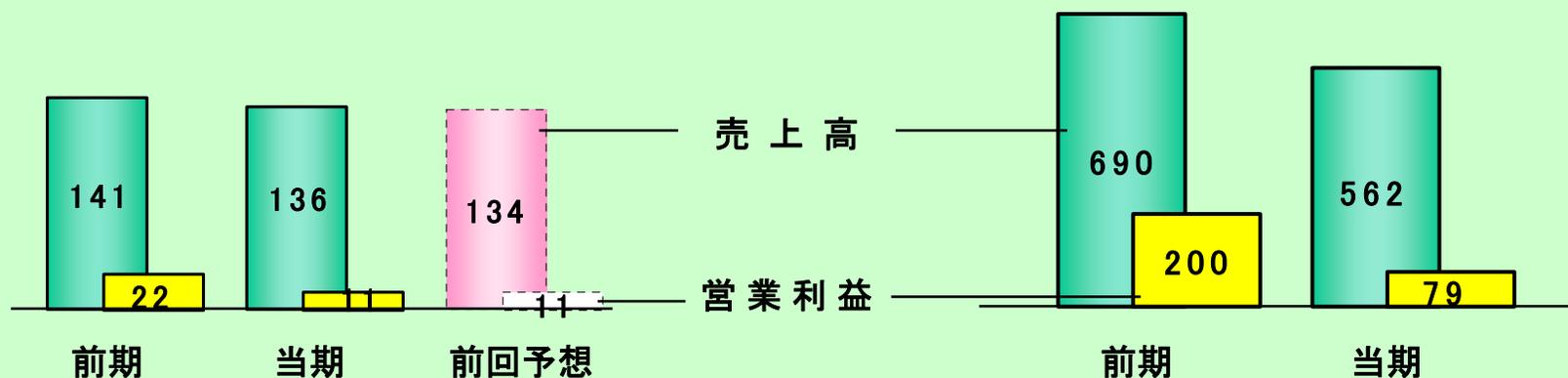
4Qの状況

- ・ 4Q業績は、対前年同期減収減益。ほぼ前回予想並みの水準
- ・ 携帯電話用音源LSIは単価下落進行
- ・ 次期モデル用のアミューズメント画像LSIの出荷開始

通期の状況

- ・ 対前期大幅減収減益
- ・ 主力の携帯電話用音源LSIは、ソフト化進行し、数量、単価ともダウン
- ・ 電子金属材料市場は、デジタル家電市況が緩やかに回復し、対前期微増収。但し、金属価格の高騰で営業利益半減

(億円)



(億円)

4Qの状況

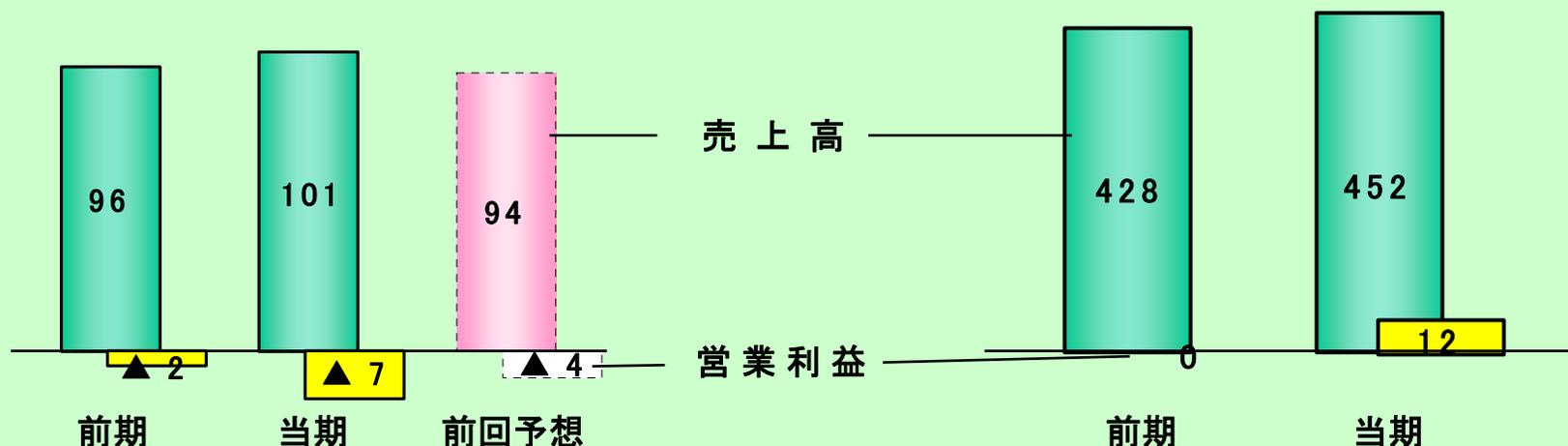
- ・引き続きシステムキッチンが牽引し、前年同期および前回予想を上回る売上となった
- ・春の新商品拡販のための媒体広告を強化し、利益は対前年同期、前回予想とも減益

通期の状況

- ・リビング事業再建のための構造改革が前倒しで進展し、営業黒字化を達成
- ・大理石シンクが好評で、システムキッチンが対前期大幅な売上伸長
- ・新築住宅着工が伸び悩む中、リフォームビジネスを強化し、徐々に成果が出始めている

(億円)

(億円)



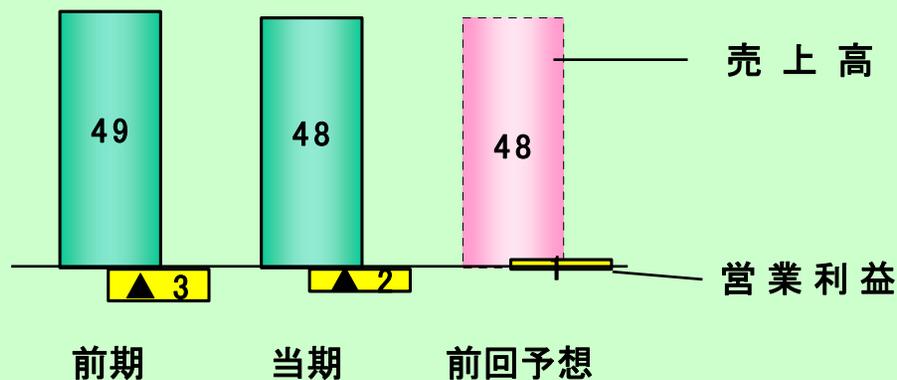
4Qの状況

- ・4Q売上高はほぼ前年同期及び前回予想並み
- ・営業利益は「キロロ」ゲレンデ改修工事による追加費用もあり対前回予想減益

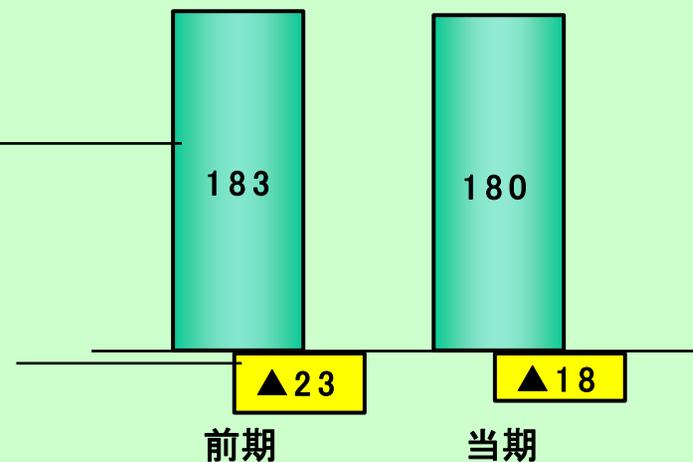
通期の状況

- ・通期売上高は対前期減収
- ・減損会計による償却資産の圧縮で対前期7億円の償却費負担減少

(億円)



(億円)



その他事業



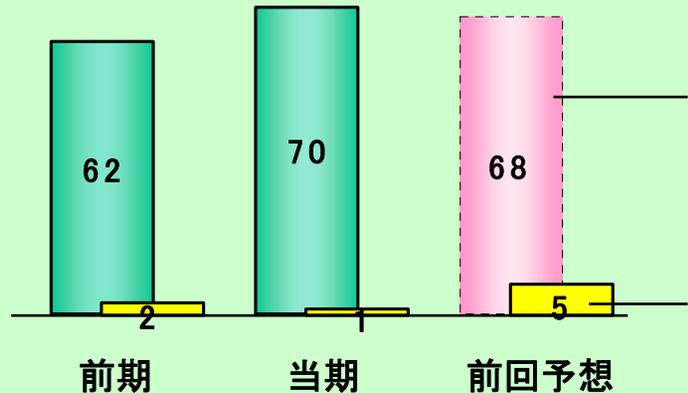
4Qの状況

- ・セグメント全体では対前年同期増収
- ・前回予想との比較ではゴルフ売上未達で営業減益

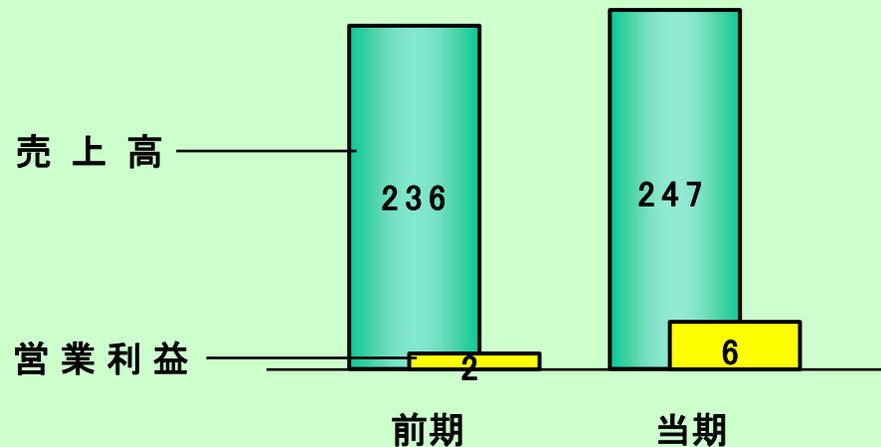
通期の状況

- ・セグメント全体では、対前期増収増益
- ・部品・金型事業はFA好調継続。Mg部品は携帯電話用、デジタルカメラ用とも受注増加
- ・自動車用内装部品は、新規顧客開拓奏功 製造原価低減も進み利益率改善
- ・ゴルフは反発規制適合モデル順調

(億円)



(億円)



中期計画「YSD50」最終年に向けて



中期計画2年目の評価

- 個別施策については、部分的な成果は見られるものの、全体的には実行のスピード感が不足している
- 想定を上回るスピードでの携帯電話用音源LSIのピークアウトと楽器事業の計画未達で2006/3期は売上高、営業利益は中期計画目標を下回る
- 楽器事業は、上海での音楽教室スタートや杭州工場でのピアノ増産等中国市場での布石進展したことに加え、欧米を中心に設備音響機器が順調に推移しているものの、コストダウン施策等が目標レベルに達していない
- AVビジネスの収益力が急速に悪化。レクリエーション事業も損益改善が遅れている
- 中期計画初年度でリストラを実施したリビング事業の収益は着実に改善

中期計画最終年の考え方

- 営業利益500億円達成は2008/3期以降となり、当期の営業利益予想は半減の250億円
中期計画とのギャップを埋めるべく、最大限の努力傾注
- とりわけ、楽器事業の収益力強化を最優先課題とする
- 中期計画「YSD50」で掲げた施策、「持続的・安定的な高収益構造の確立」、「独創的かつ高品質な商品開発/事業創出」、「企業の社会的責任(CSR)を重視した経営」の継続推進

2007/3期 業績予想



➤ 中期計画目標の営業利益500億円には及ばないものの、前期に対しては増収増益計画とし、更に上乘せを目指す計画とする

	06/3 実績	07/3 予想	伸び率	(億円) 中期計画
売上高	5,341	5,460	+2.2%	5,900
営業利益 (営業利益率)	241 (4.5%)	250 (4.6%)	+3.7%	500
経常利益 (経常利益率)	352 (6.6%)	350 (6.4%)	▲0.6%	520
当期利益 (当期利益率)	281 (5.3%)	280 (5.1%)	▲0.4%	340
持分法利益	148	148		
EPS(円)	136.0	135.8	—	
ROE(%)	9.5	8.6	—	

為替レート

売上高

US\$
EUR

06/3実績

113
138
113
135

07/3予想

115
134
115
134

中期計画

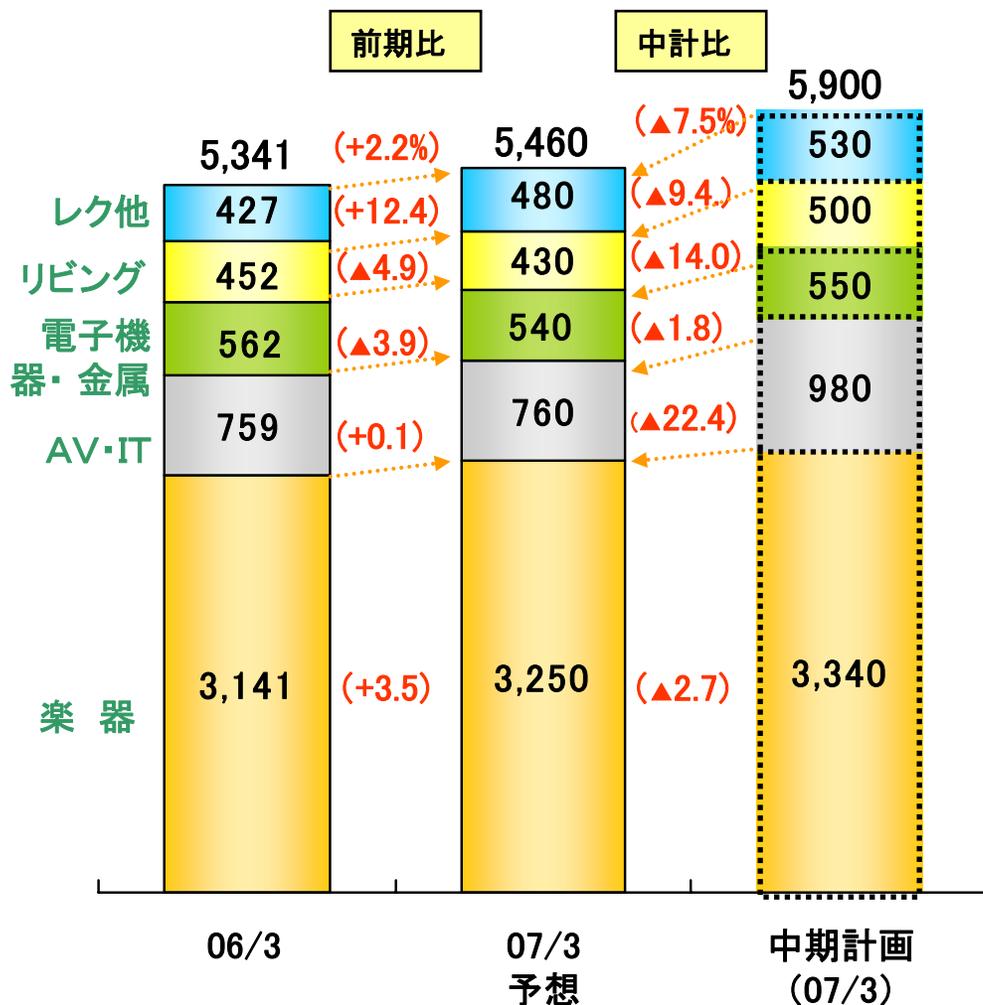
110
127
110
127

利益

2007/3期事業別売上高予想



(億円)



()内は前期比
または中期計画比

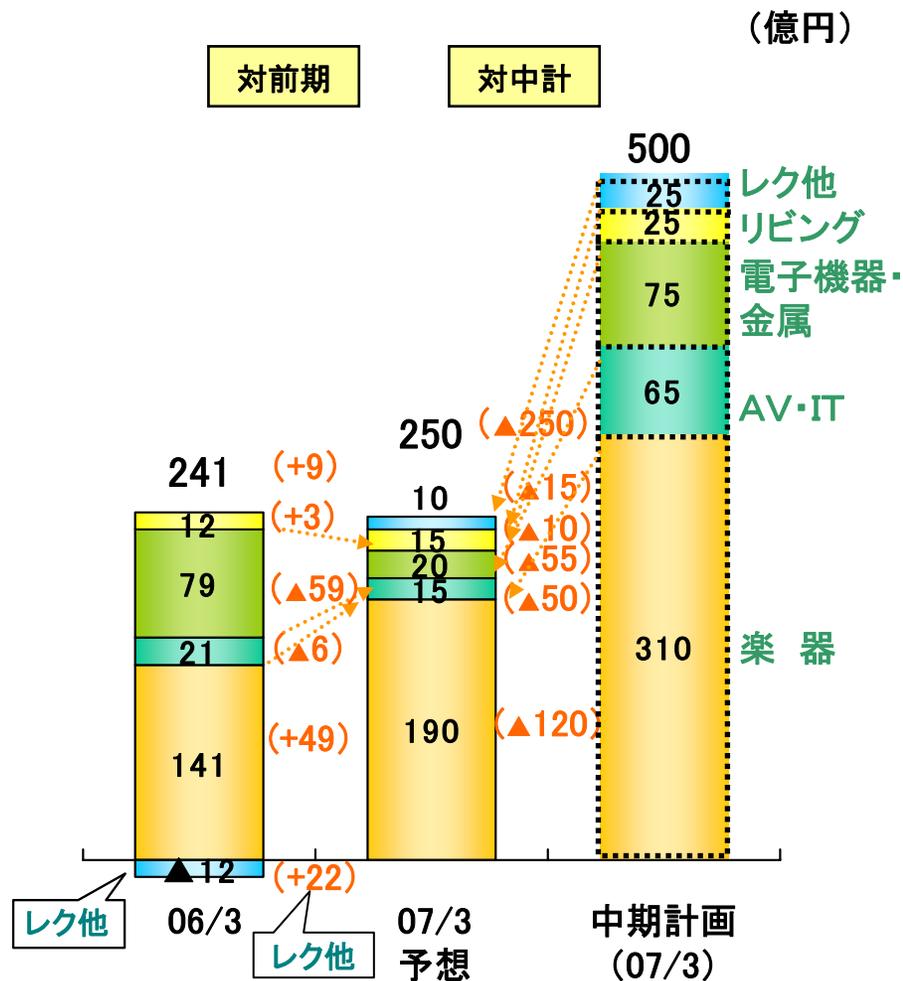
中期計画との変化要因

▶ 全てのセグメントで、中期計画を下回る売上計画
特にAV・ITは大幅な減収計画

■ 減収要因

- ・AV・IT ▲ 220
- ・楽器 ▲ 90 (国内 ▲ 132、欧米+48)
- ・リビング ▲ 70
- ・レクリエーション ▲ 20

2007/3期事業別営業利益予想



中期計画との変化要因

- 営業利益は対中期計画半減
全てのセグメントで中期計画未達の予想
- 半導体の収益悪化は想定どおりではあるものの、ピークアウトスピードが6ヶ月～1年早い
- 楽器事業の構造改革に遅れ

■減益要因

- ・楽器 ▲ 120
- ・AV・IT ▲ 50
- ・電子機器・金属 ▲ 55
- ・レクリエーション ▲ 11

()内は対前期増減
または対中期計画増減

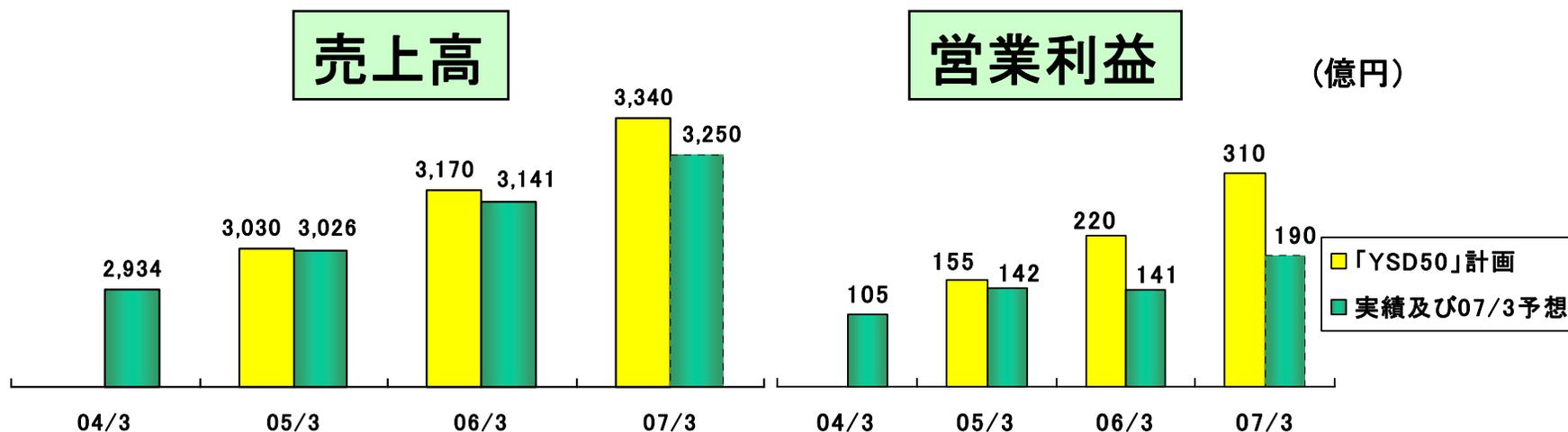
- ・売上目標の未達と個別施策の遅れにより、目標利益に対し大幅な減益
- ・為替変動要因を除いた、実質売上高は対中期計画▲155億円(▲4.6%)の減収

〈ポジティブ要因〉

- ・成長の柱としたPA機器は欧米設備音響市場を中心にほぼ期待通りの成長
- ・韓国、中近東、中南米域では中期計画を上回る成長。また、中国は販売網整備の遅れ等で、目標を下回るものの、着実に成長

〈ネガティブ要因〉

- ・製造原価低減、基幹システム見直しによる効率性向上等コストダウン施策の遅れ
- ・国内は需要の底入れが遅れ、対中期計画大幅な減収
但し、音楽教室の在籍数増加、団塊世代の楽器回帰現象が見られ、今後下げ止まりを期待
- ・欧米は景気の不透明感、中国製品の台頭により、期待値を下回っている



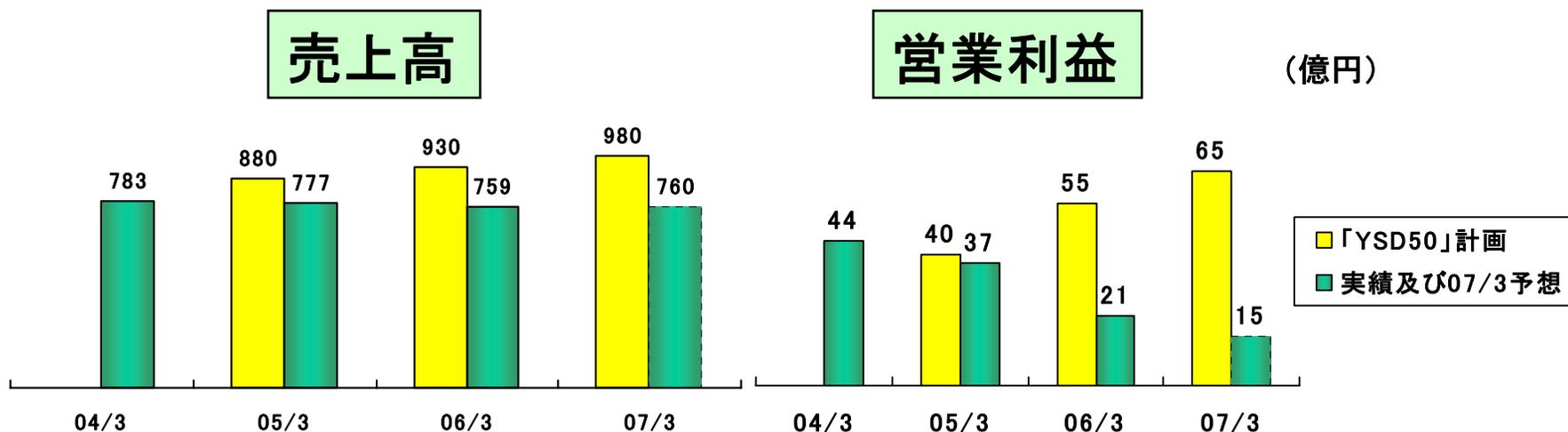
- ・売上低迷に伴い、中期計画を大きく下回る営業利益
- ・為替変動要因を除いた、実質売上高は対中期計画▲242億円(▲24.7%)の大幅な減収

〈ポジティブ要因〉

- ・市場が伸び悩む中、アメリカ市場はチャンネル戦略奏功し期待通りの成長
- ・薄型ホームシアター、「ヤマハサウンドプロジェクター(YSP)」のヒット

〈ネガティブ要因〉

- ・期待した新領域商品の不振(Music Cast、映像機器)
- ・欧米でのホームシアター需要の伸び悩みと低価格化進行
- ・成長市場(中国等)への対応遅れ
- ・ルーター事業の競争激化

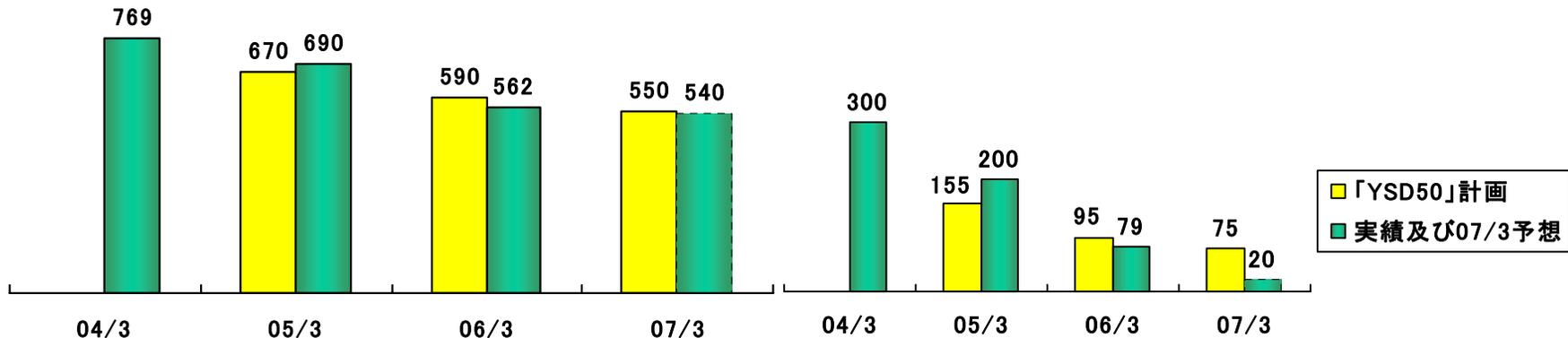


- ・携帯電話用音源LSIの数量減、単価ダウンが前倒しで進行し、営業利益は中期計画を大きく下回る
- ・新規のアプリケーションの開発、市場投入が今後の課題
- ・電子金属材料は、原価低減継続による収益力強化
銅系コネクタ材料ビジネスの強化が今後のテーマ

売上高

営業利益

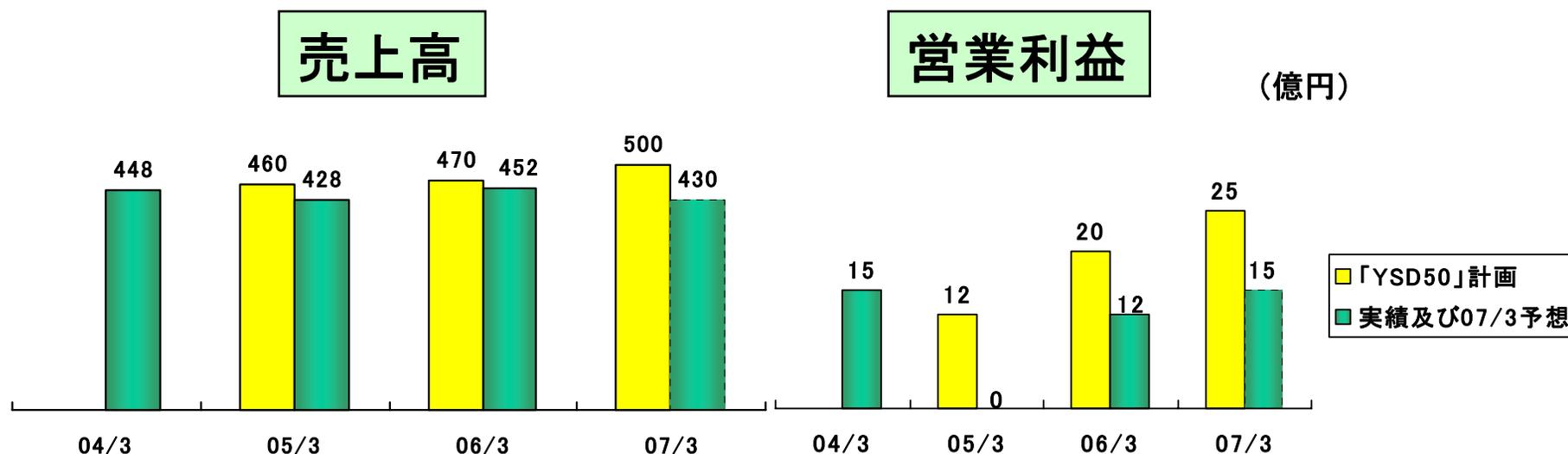
(億円)



リビング事業



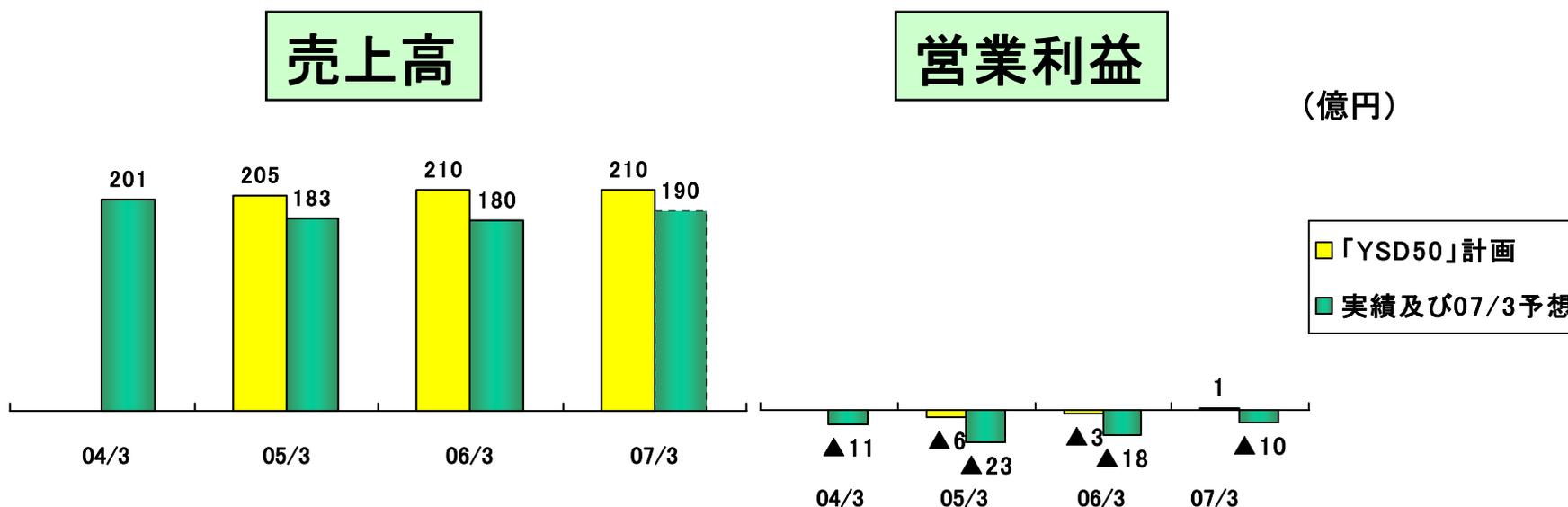
- ・中期計画初年度で、事業リストラクチャリングとビジネスモデルの見直しを実施
- ・結果として、中期計画2年目の2006/3期以後、損益大幅改善
- ・07/3期売上高はリストラ計画に沿った対中期計画▲70億円の430億円の予想としているが、対前期増収を目指す
- ・システムキッチンにはマーブルシンクが高評価で、マーケットシェア拡大
- ・リフォームビジネス強化と媒体広告等を通じての認知度向上に注力



レクリエーション事業

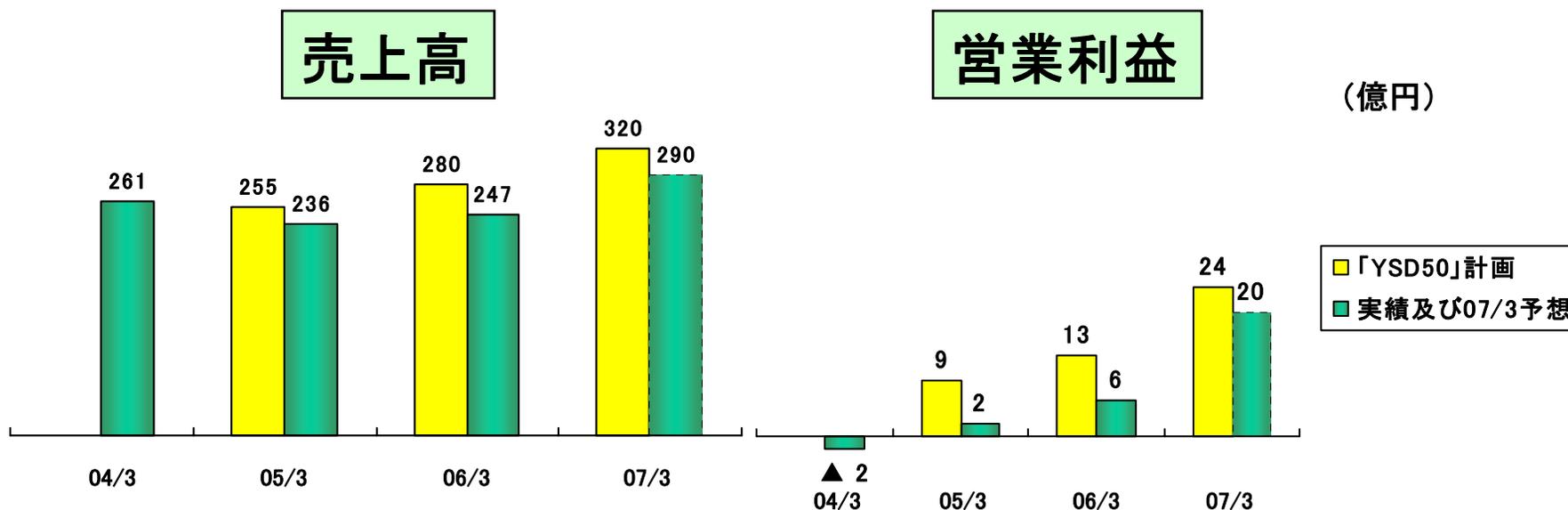


- ・中期計画初年度で減損会計早期適用(320億円の特別損失計上)。
- ・売上は、国内景気回復の遅れと構造的要因(ゴルフ価格の低下、スキー人口の減少等)により中期計画を大幅にショート
- ・減収に伴う売上総利益の低下で引き続き黒字化の目処が立っていない

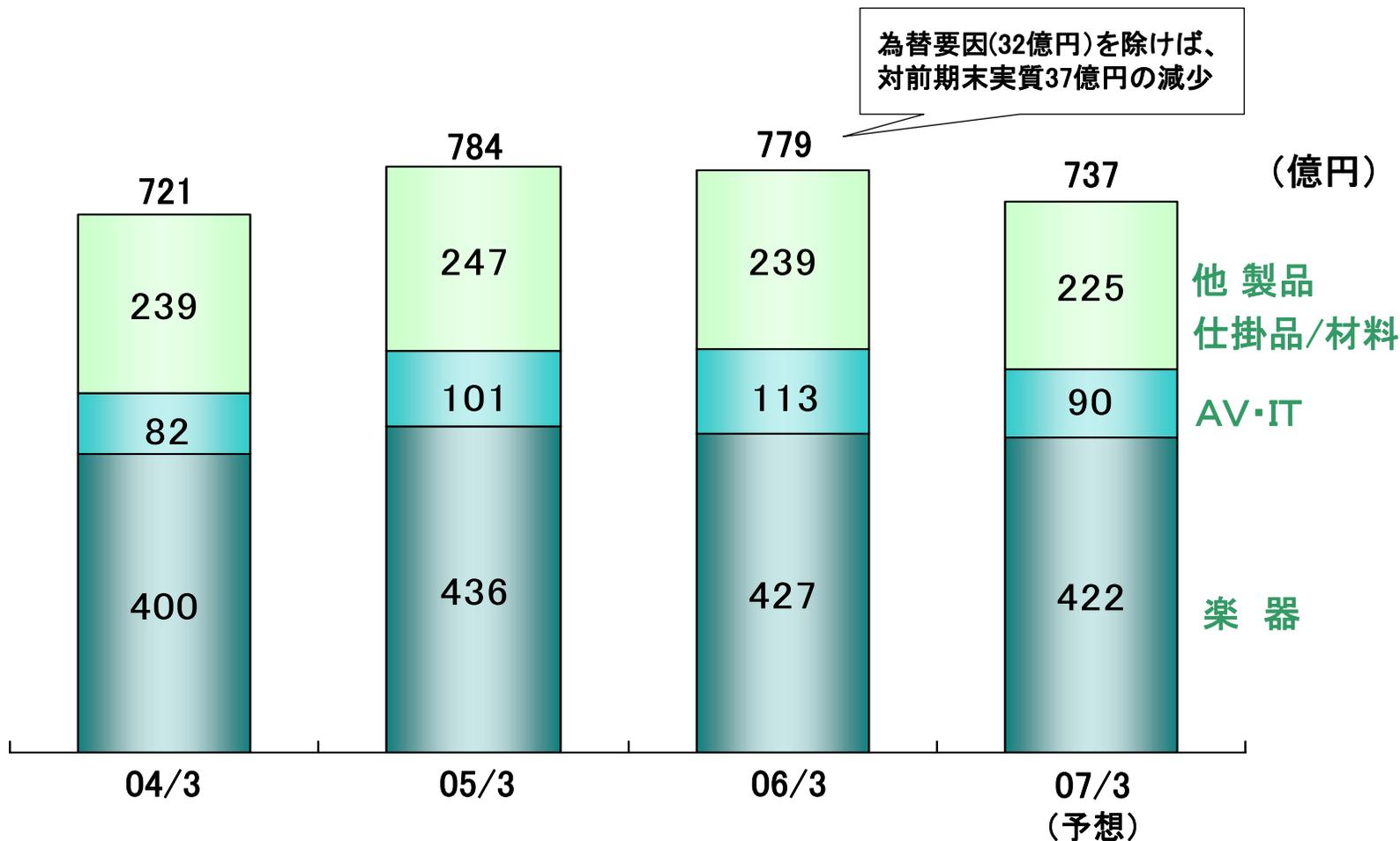


その他事業

- ・個別には、金型・部品事業が中期計画を下回る売上となるものの、製造コストダウン等が進行し、営業利益は中期計画にほぼ沿った状況
- ・自動車用内装部品は新規顧客の増加と製造コストダウン奏功
- ・金型・部品事業は携帯電話の低価格化に伴い、Mg部品を中心に需要が減少し、中期計画を下回る売上となっているが、製造原価低減が進行し、対中期計画小幅な利益減
- ・ゴルフはブランド認知度向上と差別化製品の開発に注力



棚卸資産

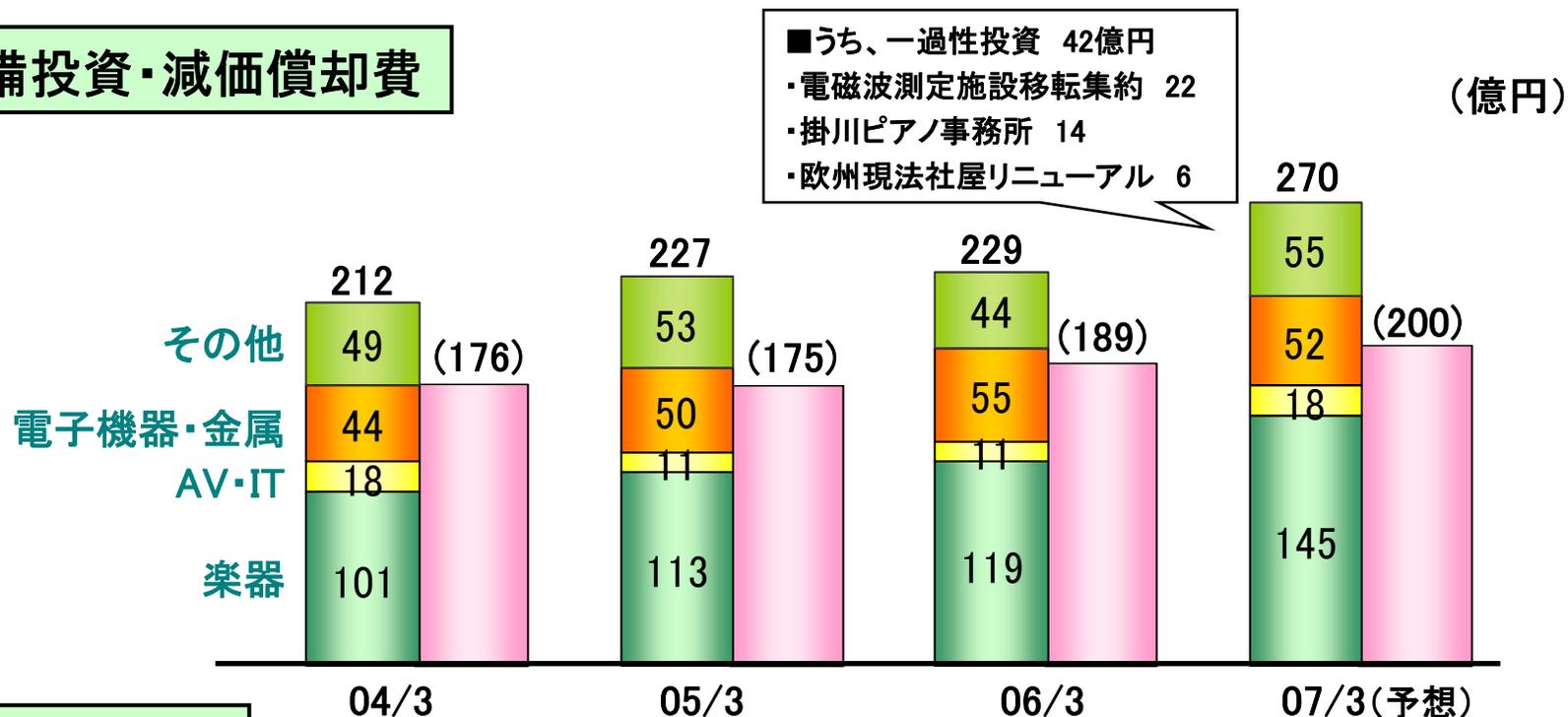


- 為替要因を除いた06/3末在庫は対前回予想(2/8)実質28億円の増加
楽器は予想並み。AV・IT在庫増。
- 07/3末在庫は737億円の計画。特にAV・IT在庫を縮小する計画

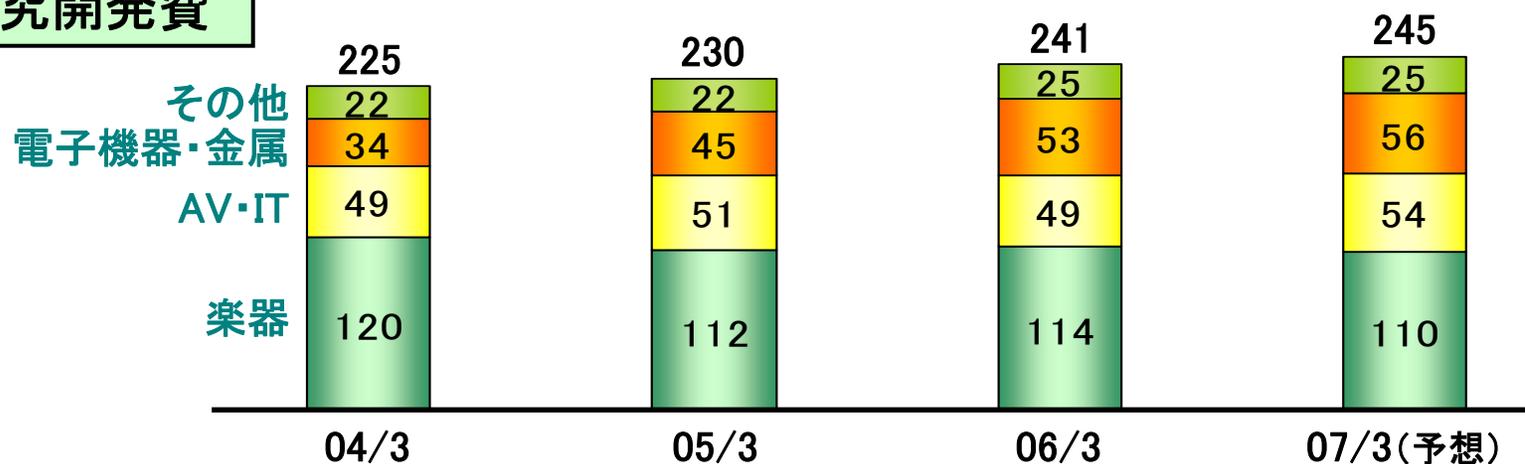
設備投資・減価償却費/研究開発費



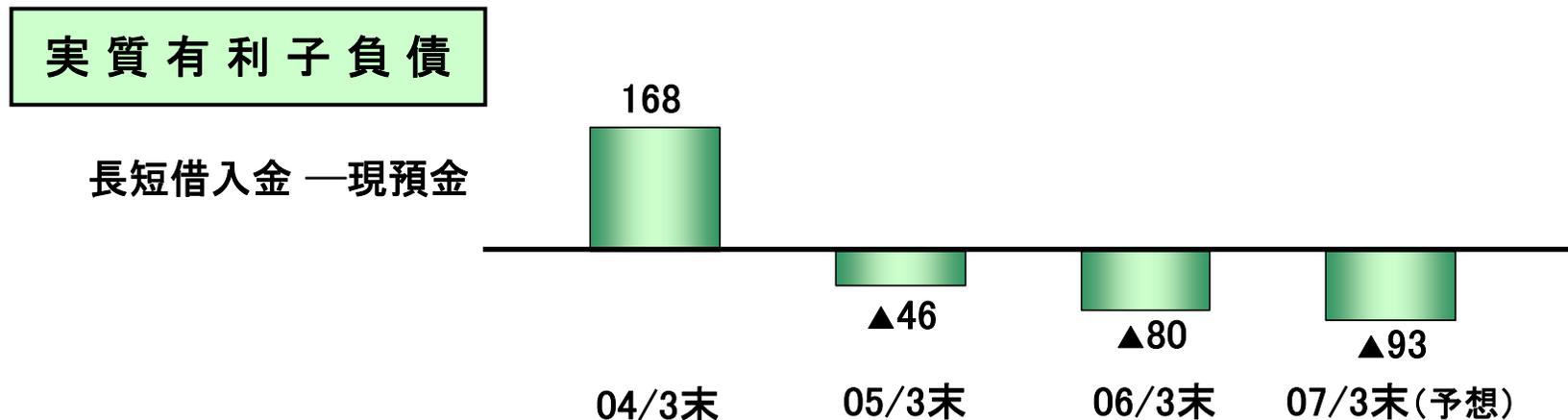
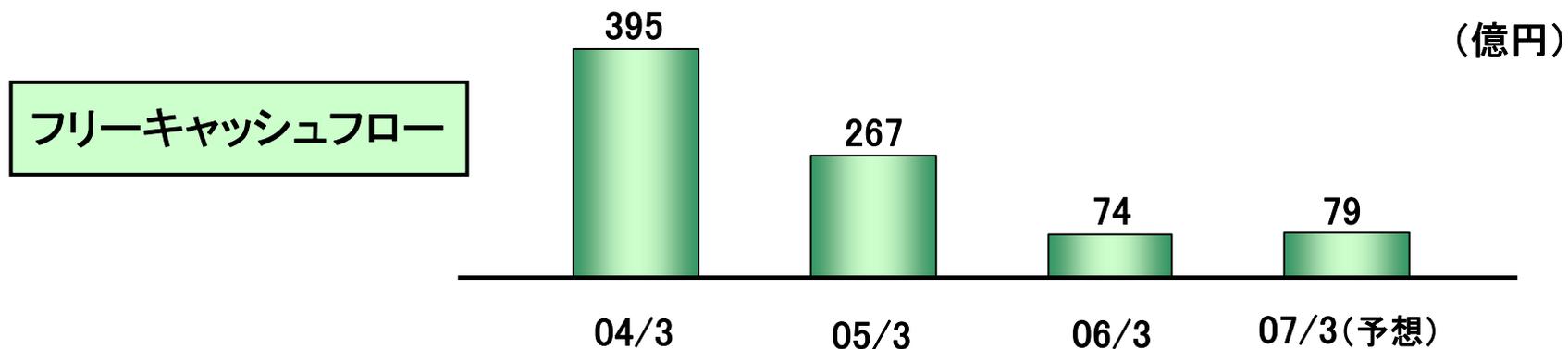
設備投資・減価償却費



研究開発費



実質有利子負債



* 上記の他に

項目	04/3	05/3	06/3	07/3
リゾート預託金残高	308	289	276	263

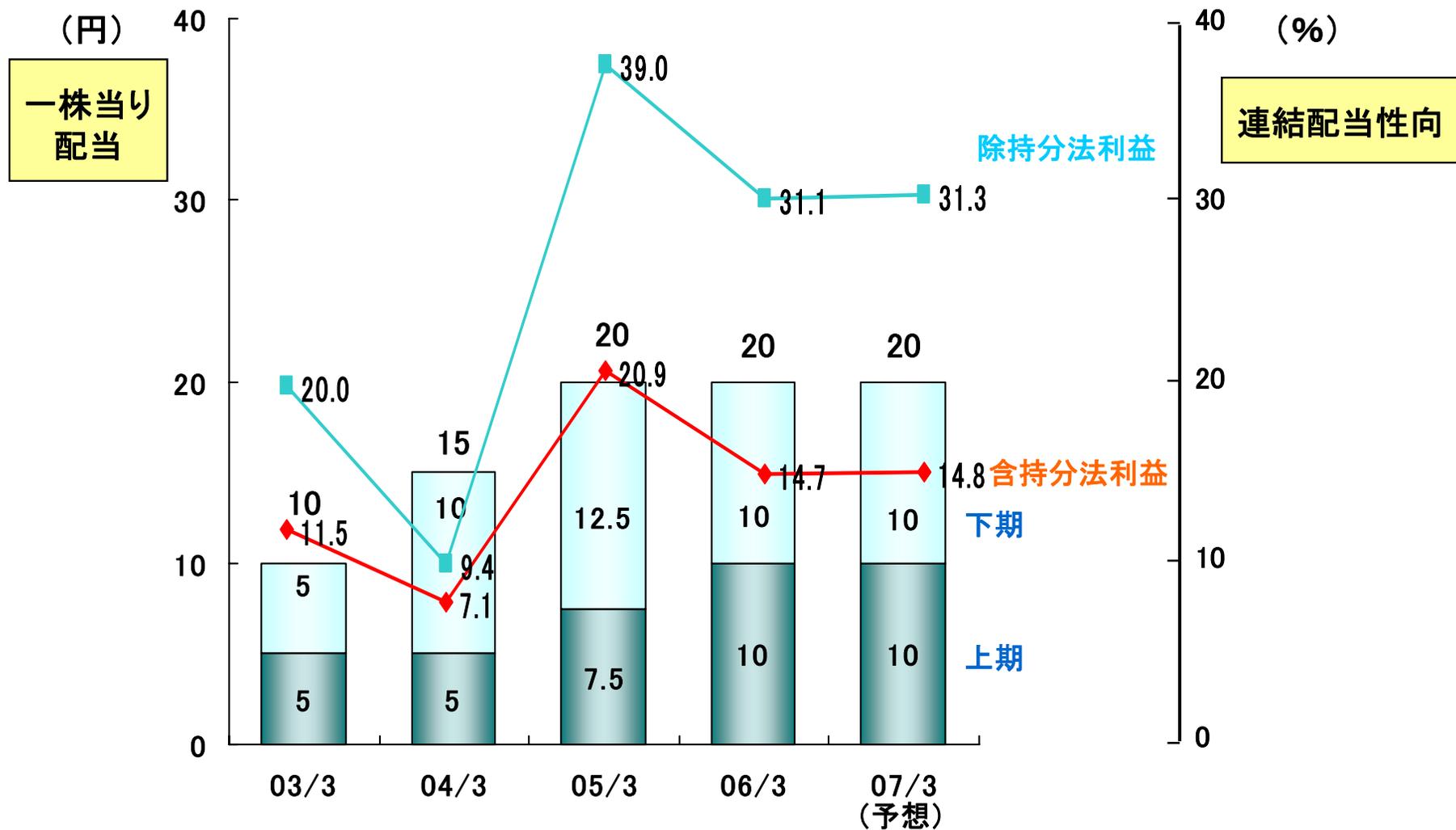
予想貸借対照表



(億円)

	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末
現金	321	512	364	385
売上債権	787	716	703	726
棚卸資産	721	784	779	737
他流動資産	188	244	248	253
固定資産	3,070	2,800	3,106	3,290
資産計	5,087	5,056	5,200	5,391
仕入債務	399	377	372	364
借入金	489	466	285	292
他負債	1,567	1,423	1,338	1,328
少数株主持分	35	38	45	48
資本計	2,597	2,752	3,160	3,359
負債・資本計	5,087	5,056	5,200	5,391

➤ 連結ベースでの利益状況を見ながら安定的な配当を実施する



大量買付ルールの設定

➤ 20%以上の買付行為に対し、ルール設定

① 意向表明書の提出

- ・買付者の名称、住所、代表者名等
- ・買付行為の概要

② 大量保有情報の提出

必要に応じ、追加情報要請

- ・更に詳細な情報の提出
- ・買付者及びそのグループの概要
- ・大量買付行為の目的及び内容
- ・買付単価の算定根拠及び買付資金の裏付け
- ・買付行為完了後に意図する経営方針及び事業計画等
- ・その他取締役会が合理的に必要と判断する資料

評価期間
(原則60日または90日)

③ 意見開示、代替案提示

大量買付提案への対応方針

20%以上の買付提案

大量買付者

①

取締役会

②

③

株主

■ 遵守されない場合の対応

- ・法令及び定款で認められる対抗措置の発動もある

付属資料

2006/3期 4Q業績概要



➤ 前回予想(2/8)に対し、楽器を中心に約50億円の増収
営業利益は前回予想並み

(億円)

	05/3 4Q実績	06/3 4Q実績	+ / ▲	前回予想 (2/8発表)
売上高	1,206	1,277	+71	1,226
営業利益 (営業利益率)	▲24 (▲2.0%)	▲17 (▲1.3%)	+7	▲18 (▲1.5%)
経常利益 (経常利益率)	▲34 (▲2.8%)	▲3 (▲0.2%)	+31	▲5 (▲0.4%)
当期利益 (当期利益率)	4 (0.3%)	6 (0.5%)	+2	▲15 (▲1.2%)

為替レート	05/3 4Q実績	06/3 4Q実績	前回4Q予想
売上高	US\$	105	110
	EUR	137	134
利益	US\$	104	110
	EUR	135	134

営業外損益、特別損益

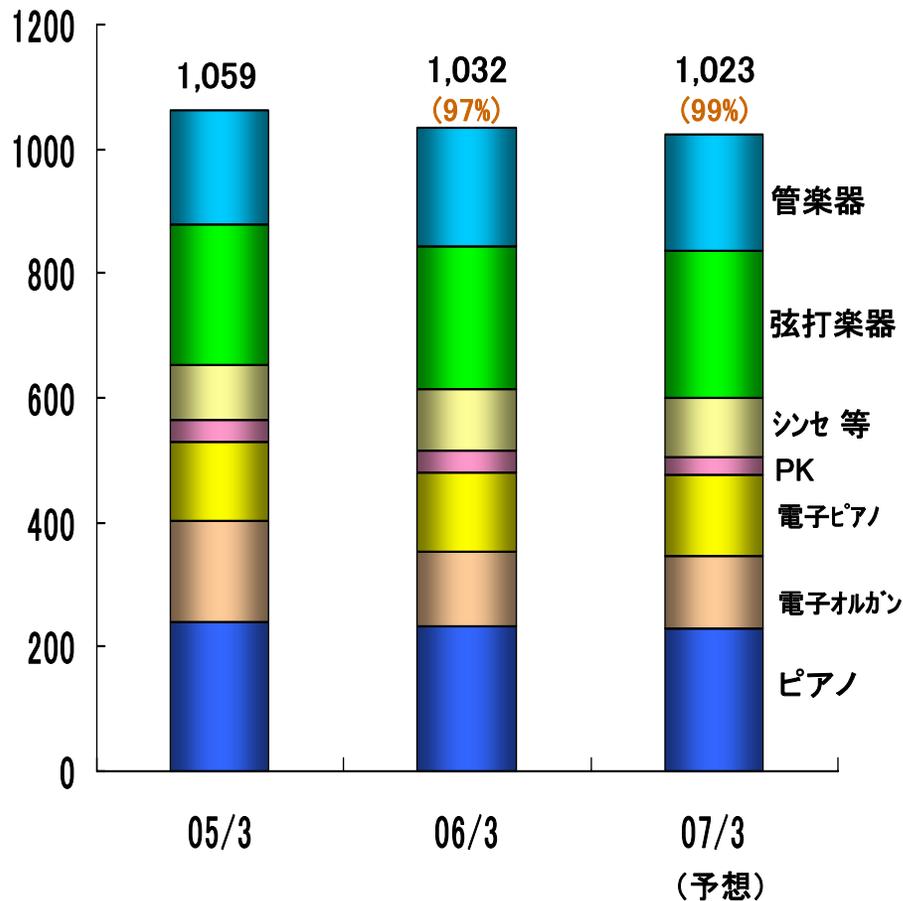


	05/3実績	06/3実績	07/3予想
(億円)			
営業外損益			
持分法利益	91	148	148
金融収支	▲ 3	▲ 2	▲ 7
その他	▲ 32	▲ 35	▲ 41
計	+ 56	+ 111	+100
特別損益			
固定資産処分損益	▲ 11	▲ 2	▲ 3
その他	▲ 67	8	3
	<ul style="list-style-type: none"> ・代行返上益 199 ・投資有価証券損益 65 ・減損損失 ▲327 	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券損益 5 	
計	▲ 78	+6	0
法人税他			
法人税等	134	72	64
少数株主持分	4	5	6
計	138	77	70

国内楽器市場推移



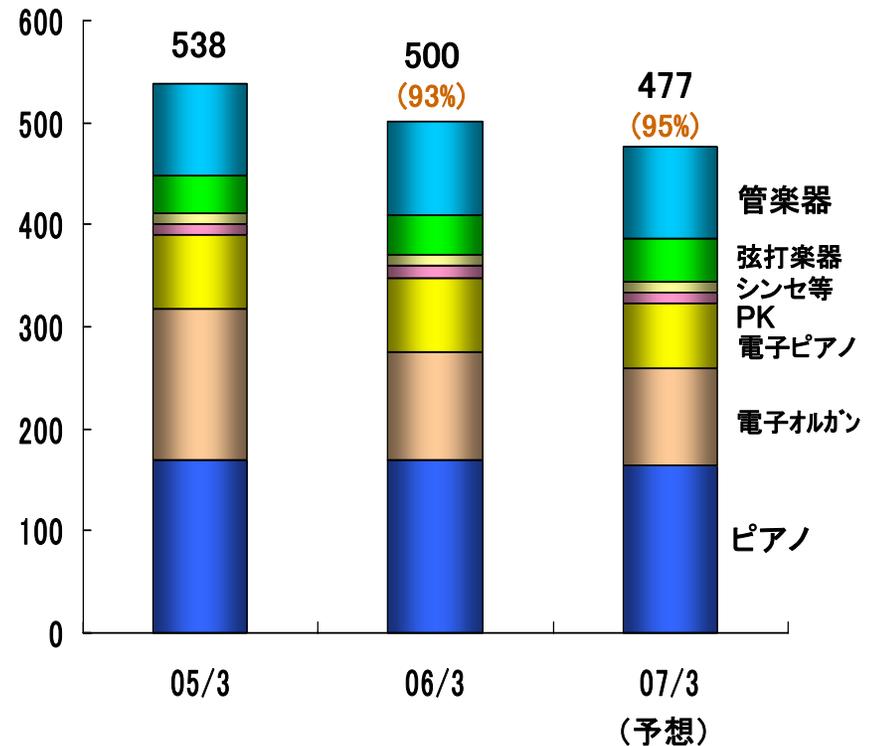
国内楽器市場卸売上高推移
 <カテゴリー別(除PA)>



ヤマハ卸ベース売上高(除PA)

()内は前期比

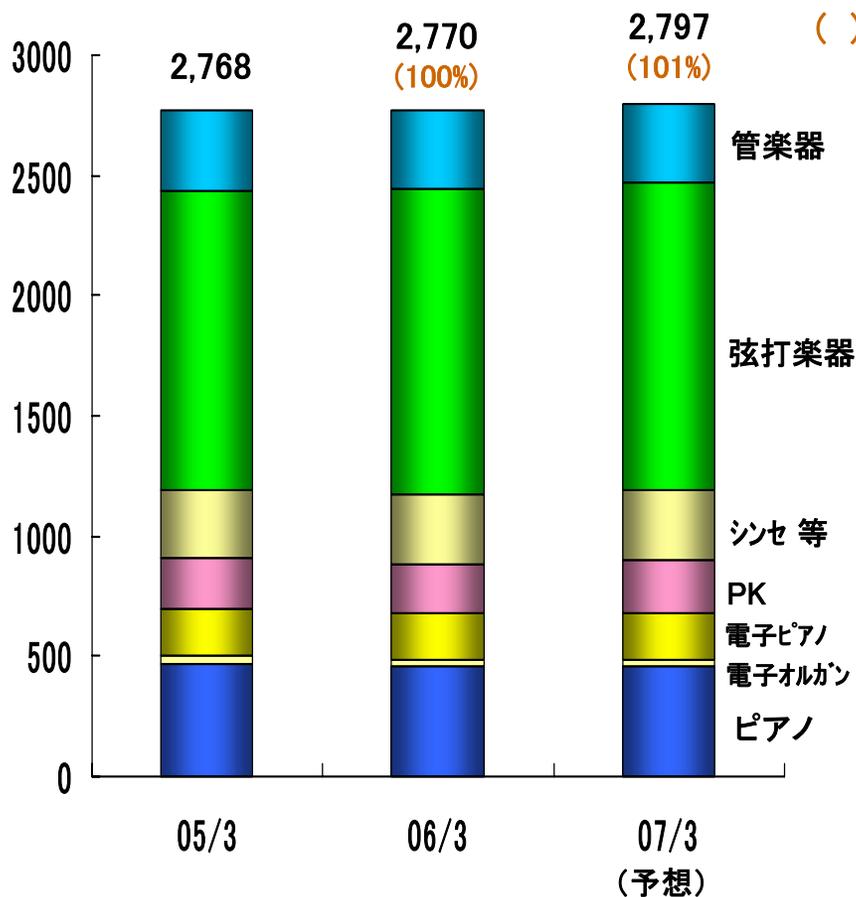
卸金額
(億円)



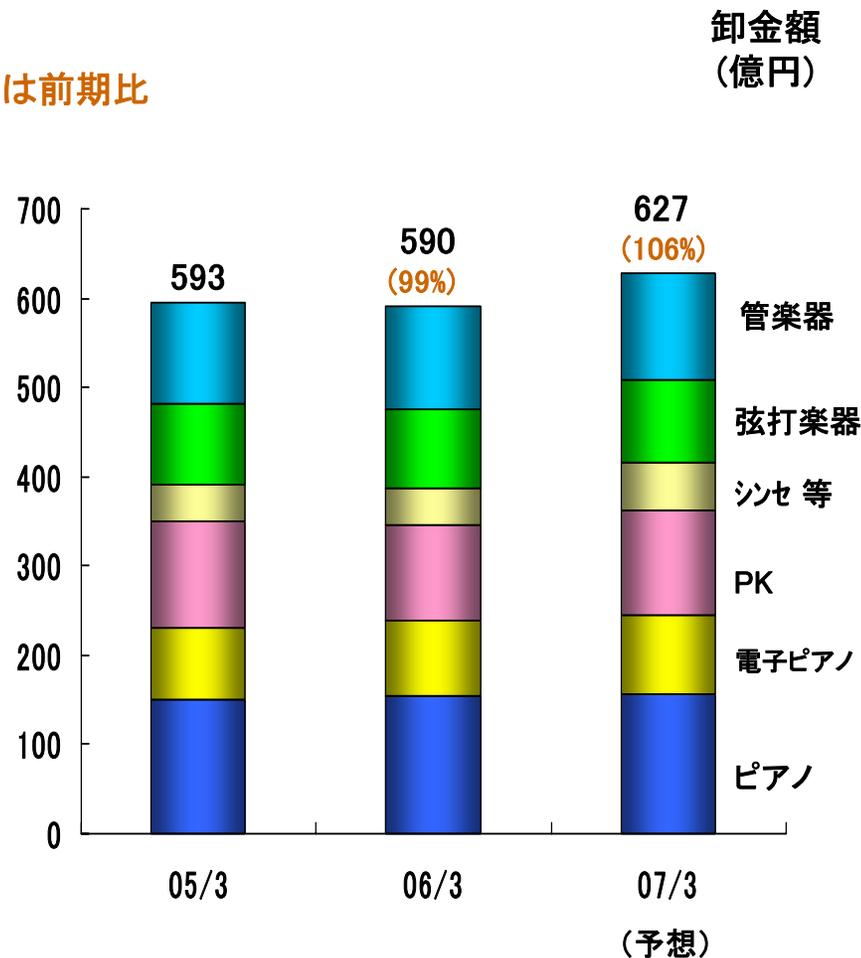
北米楽器市場推移



北米楽器市場卸売上高推移
 <カテゴリー別(除PA)>



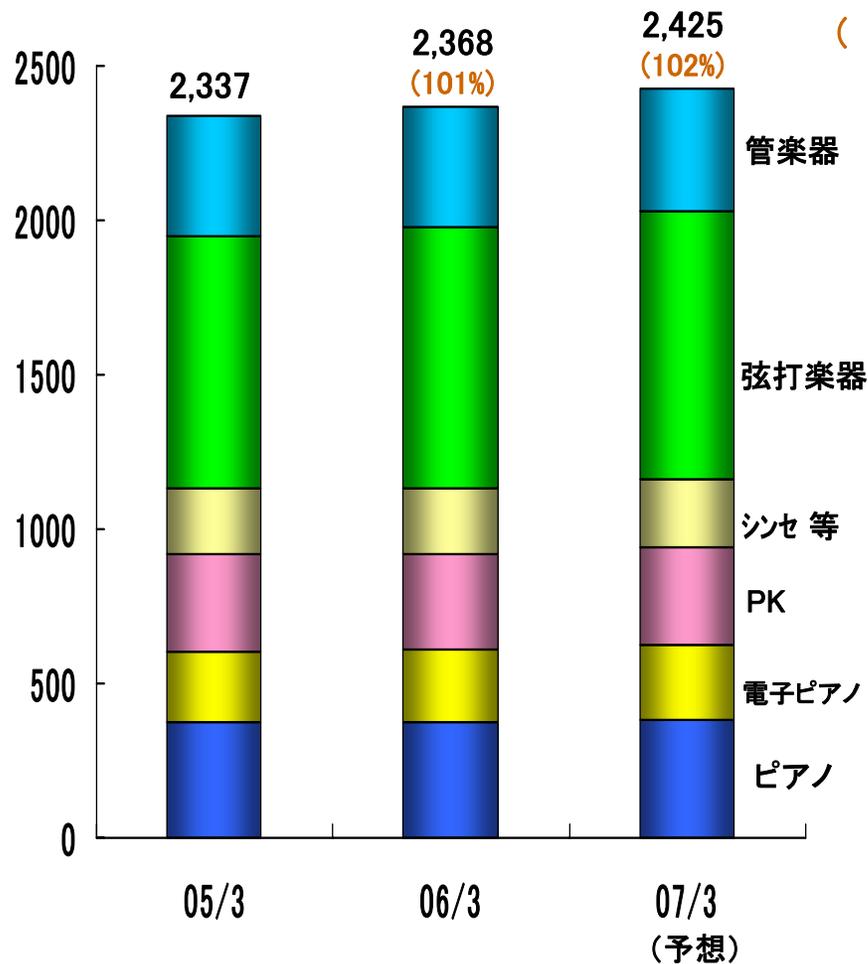
ヤマハ卸ベース売上高(除PA)



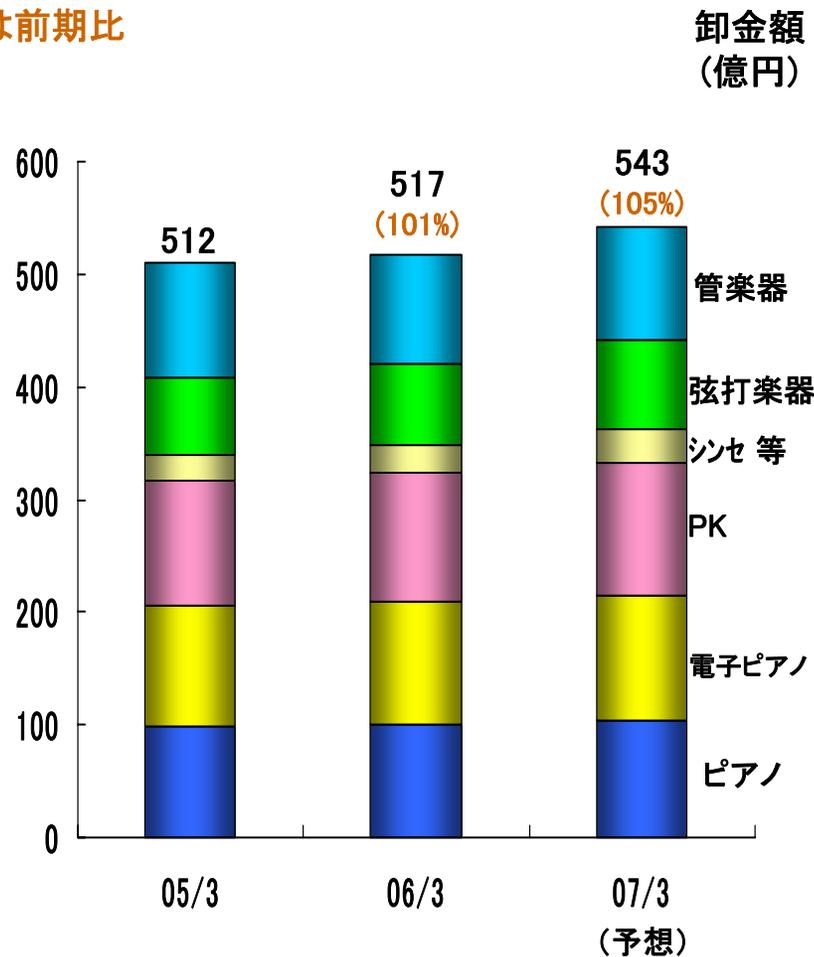
欧州楽器市場推移



欧州楽器市場卸売上高推移
 <カテゴリー別(除PA)>



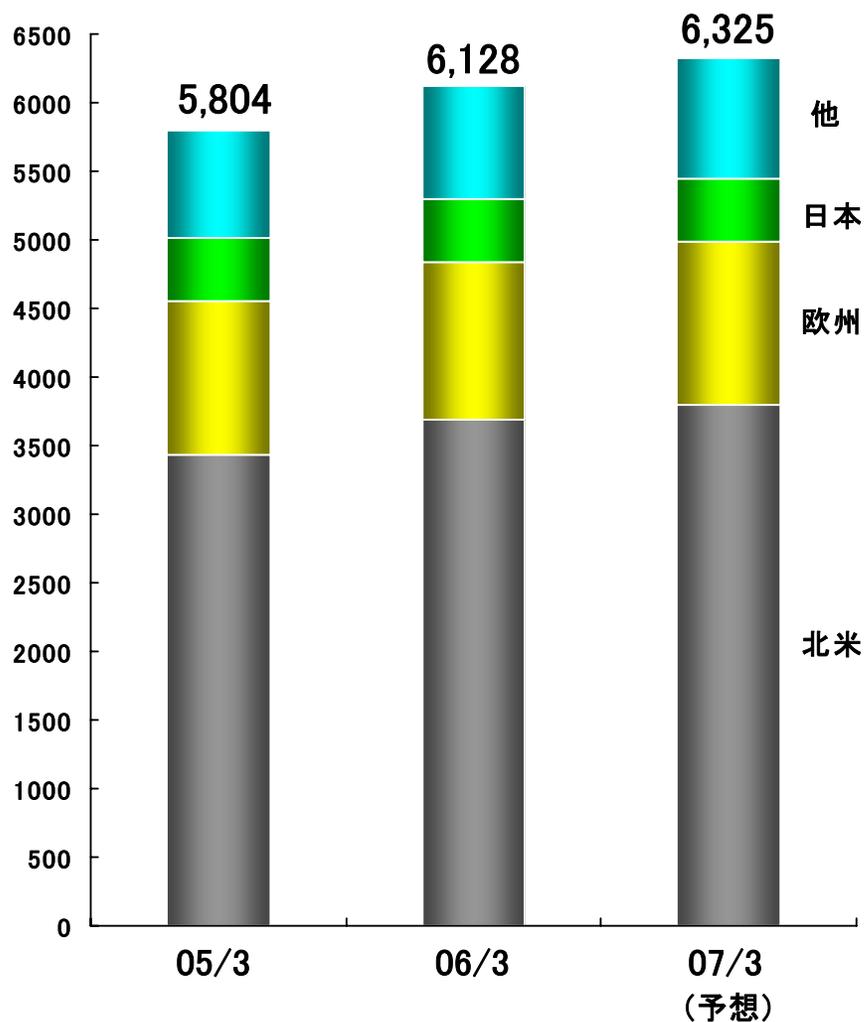
ヤマハ卸ベース売上高(除PA)



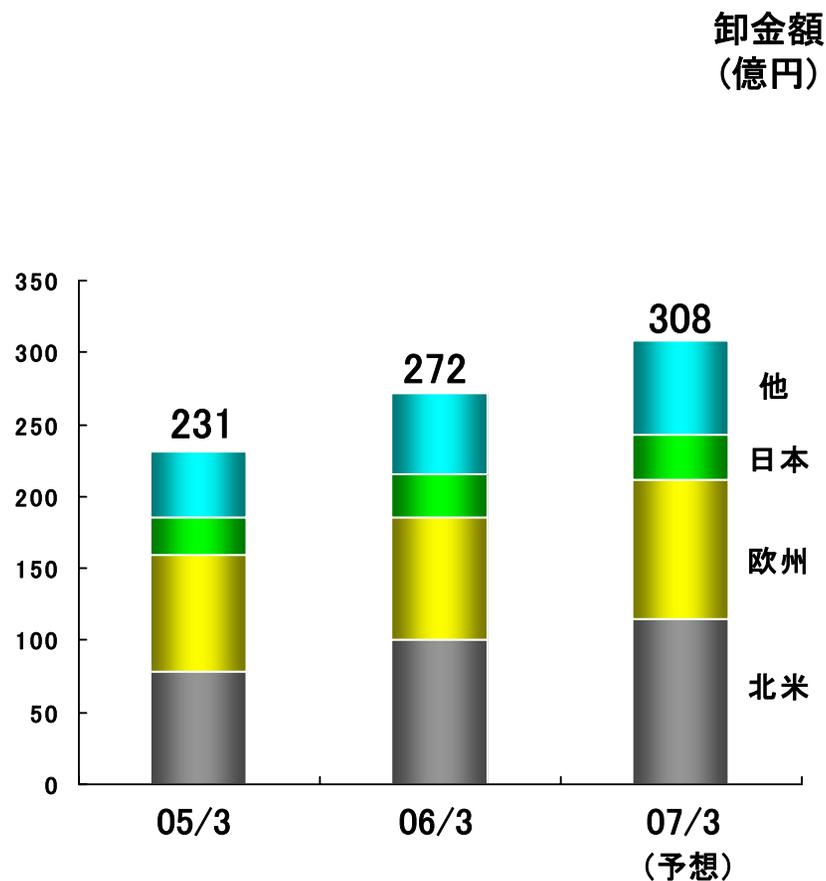
世界PA市場推移



世界市場卸売上高推移



ヤマハ卸ベース売上高



ホームシアター市場規模

(ホームシアターシステム+アンプ・レシーバー)

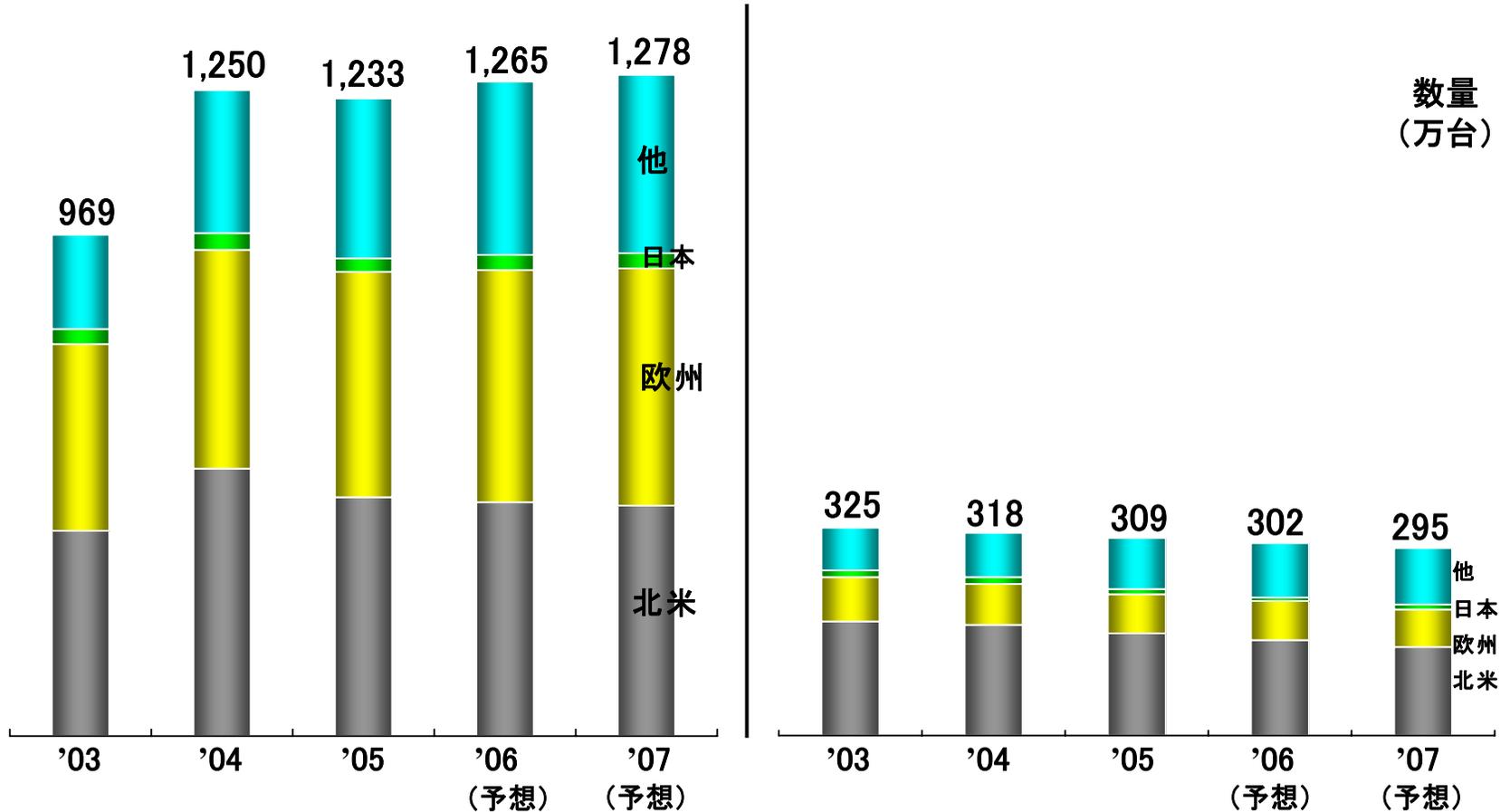


<ホームシアターシステム>

- ・全世界市場規模は横這い(1,300万台弱) 低価格化進行
- ・北米: DVD内蔵型は微増だが全体では減少傾向
- ・欧州: DVD内蔵型が9割を占め、増加傾向。低価格化
- ・日本: 05年以後ほぼ横這い(27万台)
- ・その他: 引き続きアジア、中・東欧市場で成長

<AVアンプ・レシーバー>

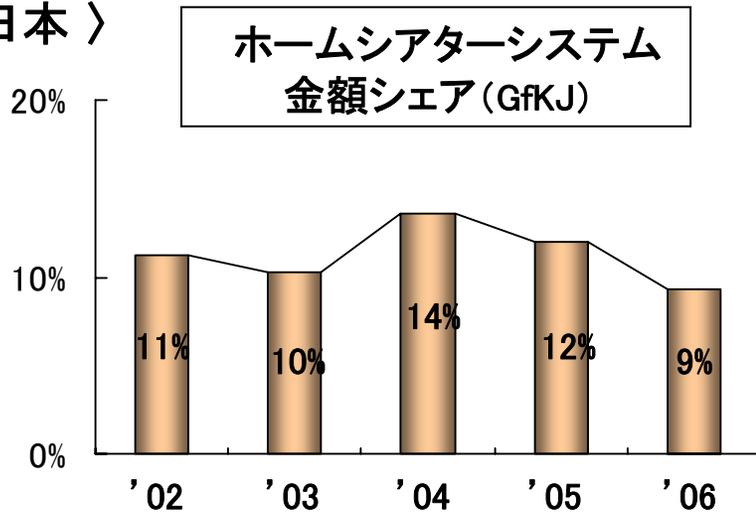
- ・全世界では年率2~3%で市場縮小
- ・欧米: 市場は縮小傾向。ヤマハ金額シェア34%でトップ
- ・日本: 05年金額ベースでヤマハシェアNo.1(31%)
- ・アジア、中国、東欧、ロシアで低価格品中心に市場拡大



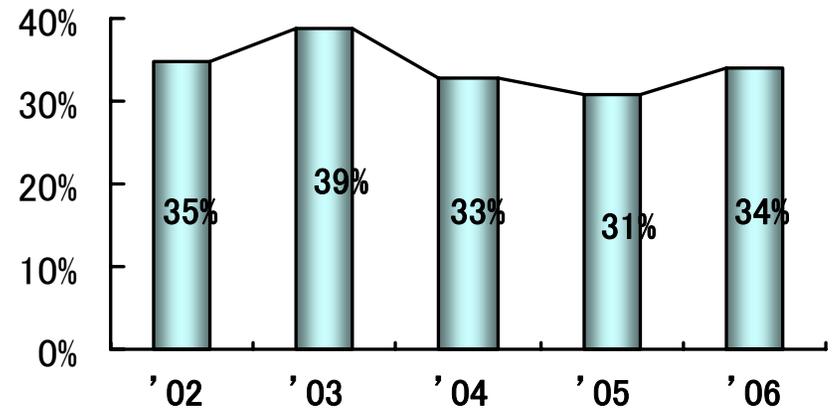
AV マーケットシェア



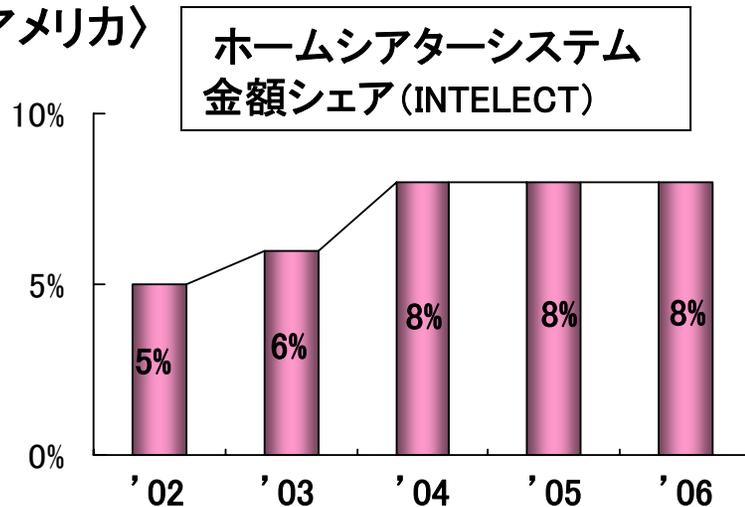
〈日本〉



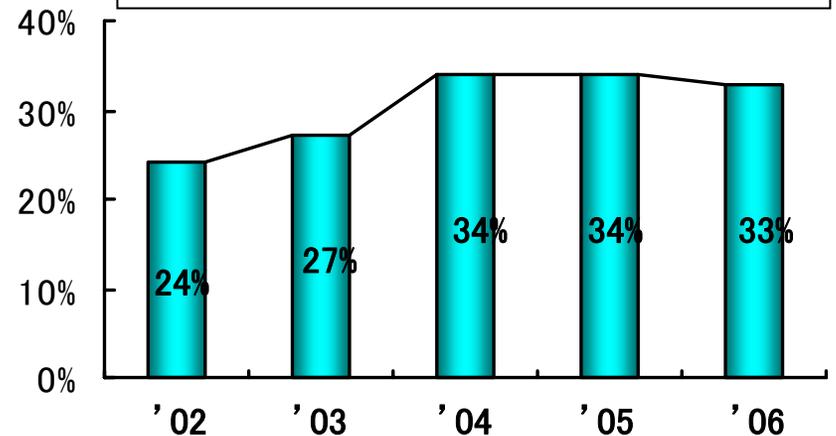
AVアンプ: 金額シェア (GfKJ)



〈アメリカ〉



AVレシーバー: 金額シェア (INTELECT)



売上高詳細



AV・IT

	05/3 (実績)	06/3 (実績)	07/3 (予想)
AV	706	694	687
ルーター	71	65	73
計	777	759	760

電子機器・金属

(億円)

	05/3 (実績)	06/3 (実績)	07/3 (予想)
半導体	567	437	410
金属	123	125	130
計	690	562	540

リビング

	05/3 (実績)	06/3 (実績)	07/3 (予想)
浴室	201	187	174
キッチン	165	205	207
その他	62	60	49
計	428	452	430

その他

	05/3 (実績)	06/3 (実績)	07/3 (予想)
自動車部品	102	107	135
ゴルフ	21	27	35
YFT他	113	113	120
計	236	247	290

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。